

読書の家から



新刊案内

あぶた読書の家

一般 尋ね人(谷村志穂)
海賊とよばれた男 上・下
(百田尚樹) 破戒者たち(高杉良) 大江戸釣客伝 上・下
(夢枕獏) 光媒の花(道尾秀介) われにやさしき人多かりき(田辺聖子) 共食い(田中慎弥)
クリスタル・ヴァリーに降り注ぐ灰(今村有紀) マンボウの最後の家族旅行(北杜夫) 「箱庭旅団」(朱川湊)
児童書 しごとば・東京スカ

イツリー他シリーズ3冊(鈴木 のりたけ) かいけつゾロリイノシシ・ノシシ大ピンチ他シリーズ2冊(原ゆたか) おぼけのアッチとドララちゃん他シリーズ2冊(門野栄子) ぐりとぐらのあいっえお他シリーズ9冊(ながわりえこ/やまわきゆりこ)
年末特別貸出し
12月21日より毎年恒例一人5冊までの貸し出しを行います。
みずつみ読書の家
一般 幸いは降る星のこと(橋本治) 時雨あと(藤沢

今月の1冊



「もしも日本人が米つぶだったら」
山口タオノ
津川シンスケ

お茶わん1ばいに、ごはんは何つぶ？
大きな数を実感する秘伝米つぶ換算術(かんさんじゅつ)。

いまの子どもに必要なのは、朝ごはんを食べることと、この本です。



周平) 徳川の夫人たち(吉屋信子) 雷の波濤(船戸与一) 夜桜、春霞ノ乱、散斬(佐伯泰英) 南極風(笹本稜平) 殺人の祭壇(森村誠一) 衆愚の果て(高嶋哲夫) 汚れちまつた道(内田康夫) この君なくば(葉室麟) 禁断の魔術ガリレオ8(東野圭吾) ツナグ(辻村深月) 彷徨い人(天野節子)
ロータリー文庫 火山のふもとで(松家仁之) 有珠山の地殻変動予測に関する研究、室蘭地質図幅(北海道立地質研究所) 岩石と宝石の大図鑑(ロナルド・ルイス・ポネウィッツ) IPS細胞とは何か(朝日新聞大阪本社科学医療グループ) 新訂カモンハンドブック(叶内拓哉) 歩こう札幌の地形と地質(北海道新聞社)
開館時間
午前10時より午後4時20分
12月休館日
6日・13日・20日・23日・27日・1月10日
(毎週木曜日・祝祭日休館)
あぶた読書の家 ☎76・2100
みずつみ読書の家 ☎75・4702

わたしのうた

短歌

「あぶた短歌会」十一月定例会より

庭上にしづまる小菊は伏しむれて

陽のいろにぶく冬のちかきも

温もれる蒲団に包まれ起き難し

時計の針は無情に進む

対等に妻と歩めぬもどかしさ

足の衰へ深まるこのころ

しら樺のどこまでもつづくこの径は

いつか息子と来た山峡の径

あけ方に近所の家の水洗の音

床の中にそつ聞きてあつ

俳句

「あぶた俳句会」十一月定例会より

綿虫の湧きて槌音冴えわたり

紅葉を病窓で見る口惜しさ

高速路きし子背負くる冬銀河

落葉ちり吹くたびちぎり絵変りけり

秋つらら風車つなづく程の風

峡は今霜のきらめく十戸かな

大西 芳子

北島 加代

太田 智

山木 孝

元田 フジ子

那須 伶子

三瓶 修

井村 育子

小笠原 勇

矢野 知子

菅原 敏子

菅原 敏子